

やよい句会 令和六年 代表句

一月

着ぶくれて老姿たたずむバス待ち顔

信



着ぶくれて気分アヒルの歩みなす

晴代

薺打つ軽やかに日々ありにけり

雅俊

二月

雪つりの今年は無用の空の青

信



やわらかな土の香りや春近し

晴代

椅子に寝て如月の雲拾ふ

雅俊

三月

窓の外荒さむも内は春の唱

信



春昼や会話の中に国ことば

晴代

春の曙琵琶湖一面蒼天なり

雅俊